

1. チェック欄

目次には、各問題のチェック欄が設けられています。チェック欄は、解答後のフィードバックにご使用ください。

(例) 解答した日付を記入し、解き直し時期の目安として使用する

正解できた問題は○、一箇所でも間違えれば△、全部間違えれば×を記入するなど

2. ランク

各問題には、A B Cのランク付けがしてあります。

Aランク問題……Aランク問題は、主に基本問題です。学習項目の基本的な要件や計算パターンの確認をする問題になっています。確認ができれば、繰り返しの解き直しは不要です。

Bランク問題……Bランク問題は、主に実力養成問題です。本試験合格のために確実にマスターしてほしい問題になっています。このBランク問題を確実に解ければ、合格レベルに到達できますので、復習などで繰り返し解くようにして下さい。

Cランク問題……Cランク問題は、主に応用問題です。本試験では、様々な形式での出題の可能性があります。非常に難易度の高い項目も出題されています。Cランクの問題は、様々な角度からの出題にも対応できる力を養う目的の問題ですから、Bランクの問題を完全にマスターしてから取り組むようにして下さい。

3. 標準時間

各問題には、標準時間が付されていますので、時間内に解答できるように努力しましょう。

4. 宿題

授業中に解けなかった問題は宿題となります。宿題となった問題は、次の授業の前までに必ず消化するようにしましょう。

目 次

個別問題編

ランク 標準時間 チェック欄

金額推定

問題 1	金額推定 1	A	3 分			
問題 2	金額推定 2	A	5 分			
問題 3	金額推定 3	A	5 分			
問題 4	金額推定 4	A	6 分			

社債

問題 5	社債 1	A	3 分			
問題 6	社債 2	A	3 分			
問題 7	社債 3	A	6 分			
問題 8	社債 4	A	3 分			
問題 9	社債 5	A	4 分			
問題10	社債 6	A	3 分			
問題11	社債 7	A	5 分			

新株予約権付社債

問題12	新株予約権付社債 1	A	7 分			
問題13	新株予約権付社債 2	A	3 分			
問題14	新株予約権付社債 3	A	4 分			
問題15	新株予約権付社債 4	A	2 分			
問題16	新株予約権付社債 5	A	3 分			

純資産

問題17	純資産 1	A	5 分			
問題18	純資産 2	A	4 分			
問題19	純資産 3	A	8 分			

減損会計

問題20	減損会計 1	A	4 分			
問題21	減損会計 2	A	5 分			
問題22	減損会計 3	A	5 分			

退職給付会計

問題23	退職給付会計 1	A	2 分	
問題24	退職給付会計 2	A	4 分	
問題25	退職給付会計 3	A	3 分	
問題26	退職給付会計 4	A	3 分	
問題27	退職給付会計 5	A	4 分	

外貨建会計

問題28	外貨建会計 1	A	5 分	
問題29	外貨建会計 2	A	3 分	
問題30	外貨建会計 3	A	3 分	
問題31	外貨建有価証券 1	A	5 分	
問題32	外貨建有価証券 2	A	5 分	
問題33	独立処理 1	A	5 分	
問題34	独立処理 2	A	5 分	
問題35	独立処理 3	A	3 分	
問題36	振当処理 1	A	4 分	
問題37	振当処理 2	A	3 分	
問題38	振当処理 3	A	2 分	
問題39	ヘッジ会計 1	A	5 分	
問題40	ヘッジ会計 2	A	5 分	
問題41	ヘッジ会計 3	A	3 分	

リース会計

問題42	ファイナンス・リース 1	A	3 分	
問題43	ファイナンス・リース 2	A	3 分	
問題44	ファイナンス・リース 3	A	5 分	
問題45	ファイナンス・リース 4	A	4 分	
問題46	セール・アンド・リースバック 1	A	4 分	
問題47	セール・アンド・リースバック 2	A	4 分	

有価証券

問題48	配当を受けた側の処理	A	4 分	
問題49	保有目的区分の変更	A	6 分	

本支店会計

問題50	本支店会計 1	A	6 分	
問題51	本支店会計 2	A	6 分	
問題52	本支店会計 3	A	7 分	
問題53	本支店会計 4	A	7 分	
問題54	本支店会計 5	A	5 分	
問題55	本支店会計 6	A	10分	

総合問題編

		ランク	標準時間	チェック欄
問題 1	総合問題 1	A	55分	
問題 2	総合問題 2	A	75分	
問題 3	総合問題 3	A	70分	
問題 4	総合問題 4	A	75分	
問題 5	総合問題 5	A	80分	
問題 6	総合問題 6	A	80分	

個別問題編

問題 1 金額推定 1

ランク 標準時間
A 3 分

次の資料に基づき、①、②の金額を答えなさい。

＜資料 1＞ 期首試算表

期 首 試 算 表				(単位：円)
受 取 手 形	120,000	支 払 手 形	75,000	
売 掛 金 (①)		買 掛 金	95,000	
繰 越 商 品 (②)		貸 倒 引 当 金	3,000	

＜資料 2＞ 決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表				(単位：円)
受 取 手 形	145,000	支 払 手 形	82,000	
売 掛 金	195,000	買 掛 金	106,000	
繰 越 商 品	55,000	貸 倒 引 当 金	6,800	
仕 入	1,386,000	売 上	1,980,000	
棚 卸 減 耗 損	5,000			
貸 倒 引 当 金 繰 入	4,800			

＜資料 3＞ その他の事項

1. 当社は掛又は手形により商品売買を行っている。
2. 当期における支払手形及び買掛金の現金預金による決済額は1,376,000円、受取手形及び売掛金の現金預金による決済額は1,939,000円である。なお、当期において売掛金に貸倒れが生じている。
3. 上記資料から判明すること以外は考慮する必要はない。

【解答欄】

①		②	
---	--	---	--

解 答 P.156

問題2 金額推定2

ランク 標準時間
A 5分

次の資料に基づき、①～⑤の金額を答えなさい。(決算年1回3月31日)

<資料1> 期首試算表

期 首 試 算 表				(単位:円)
受 取 手 形 (①)		支 払 手 形		22,500
売 掛 金	56,000	買 掛 金		43,500
繰 越 商 品	52,500	貸 倒 引 当 金		1,290
前 払 販 売 費	210	未 払 販 売 費		180
		未 払 法 人 税 等		9,000

<資料2> 決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表				(単位:円)
受 取 手 形	34,000	支 払 手 形		27,000
売 掛 金	58,100	買 掛 金		45,000
繰 越 商 品	60,000	貸 倒 引 当 金		920
前 払 販 売 費 (②)		未 払 販 売 費		130
仕 入 (③)		未 払 法 人 税 等		13,000
販 売 費	17,910	売 上		520,000
貸 倒 損 失	500			
貸 倒 引 当 金 繰 入	230			
法 人 税 等 (④)				

<資料3> 解答留意事項等

1. 当社は手形又は掛により商品売買を行っており、当期の現金預金による支払手形及び買掛金の支払額は391,500円、受取手形及び売掛金の回収額は512,000円である。
2. 販売費の当期における支払額は (⑤) 円であり、決算整理前残高試算表の販売費の金額は17,930円である。
3. 法人税等の当期における納付額は17,000円である。
4. 貸倒れは売掛金のみから生じている。
5. 上記資料以外考慮する必要はない。

【解答欄】

①		②		③	
④		⑤			

解 答 P.156

問題3 金額推定3

ランク 標準時間
A 5分

次の資料に基づき、①～⑤の金額を答えなさい。なお、() については各自推定すること。

＜資料1＞ 期首試算表

期 首 試 算 表 (一部)				(単位：円)
有 価 証 券	524,000	未 払 営 業 費		280
備 品	3,000,000	減 価 償 却 累 計 額	(①)	

＜資料2＞ 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表 (一部)				(単位：円)
有 価 証 券 ()		未 払 金		4,000
備 品	2,200,000	減 価 償 却 累 計 額	()	
営 業 費 ()		有 価 証 券 売 却 損 益	(②)	
減 価 償 却 費	120,000	備 品 売 却 益	(③)	

＜資料3＞ 決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表 (一部)				(単位：円)
有 価 証 券 (④)		未 払 金		4,000
備 品	2,200,000	未 払 営 業 費		260
営 業 費 (⑤)		減 価 償 却 累 計 額		1,745,000
減 価 償 却 費	560,000	有 価 証 券 売 却 損 益	()	
		有 価 証 券 評 価 損 益		30,000
		備 品 売 却 益	()	

＜資料４＞ 補足事項

- １．期首試算表の有価証券はすべて前期に売買目的にて取得したＡ社株式１,０００株である。
当期において２５６,０００円でＡ社株式５００株を追加取得し、その後Ａ社株式５００株を２７８,０００円で売却をした。なお、売却単価の算定方法は移動平均法を採用し、評価差額の処理は切放法を採用する。
- ２．期中に備品（取得原価８００,０００円、期首減価償却累計額２４０,０００円）を４８０,０００円で売却した。
- ３．営業費の当期支払額は２２０,０００円である。
- ４．未払金はすべて営業費に係るものである。
- ５．上記資料以外考慮する必要はない。

【解答欄】

①		②		③	
④		⑤			

解 答 P. 157

問題 4 金額推定 4

ランク 標準時間
A 6 分

次の資料に基づき、(①)～(⑥) の各金額を求めなさい。なお、解答金額がマイナスとなる場合には、金額の前に「△」を付すこと。また、資料から判断できるもの以外は考慮する必要はない。

＜資料 1＞ 前期末及び当期末の貸借対照表

貸 借 対 照 表 (単位：円)					
借 方 科 目	前期末	当期末	貸 方 科 目	前期末	当期末
現 金 預 金	1,350,000	865,000	支 払 手 形	85,000	75,000
受 取 手 形	120,000	140,000	買 掛 金 (①)		210,000
売 掛 金	300,000	320,000	未 払 費 用	800 (②)	
有 価 証 券	372,000	385,000	貸 倒 引 当 金	8,400	9,200
商 品	34,500	40,000	減価償却累計額 (③)		42,000
建 物	800,000	900,000			

＜資料 2＞ 損益計算書

損 益 計 算 書 (単位：円)			
売 上 原 価	480,000	売 上 高	640,000
棚 卸 減 耗 損	500	有価証券売却益	8,000
営 業 費	48,000	有価証券評価益	35,000
減 価 償 却 費	16,500	建 物 売 却 益	8,500
貸倒引当金繰入 (④)			

<資料3> キャッシュ・フロー計算書（直接法）

キャッシュ・フロー計算書		（単位：円）
Ⅰ 営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	（	⑤
商品の仕入れによる支出		△466,000
営業費支出		△47,600
小計	（各自推算）	
：		：
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	（	⑥
有価証券の売却による収入		108,000
有形固定資産の取得による支出		△600,000
有形固定資産の売却による収入		144,000

<資料4> 補足事項

1. 当社は商品売買を掛または手形により行っている。
2. 当社は期末の売上債権に対して貸倒引当金の設定をしている。なお、当期において前期発生 of 売掛金500円が貸倒れている。
3. 前期末及び当期末の未払費用は営業費に係るものである。
4. 当期において売買目的有価証券の取得及び売却をしている。
5. 当期において建物の売却及び取得をしている。売却した建物の期首から売却時までの減価償却費は4,500円である。なお、これ以外に固定資産の売買はない。

【解答欄】

①		②		③	
④		⑤		⑥	

解 答 P. 158

問題5 社債1

ランク 標準時間
A 3分

次の資料に基づき、解答欄に示す時点の仕訳を答えなさい。(決算年1回3月31日)

<資 料>

当社はX1年4月1日額面5,000,000円の社債(償還日:X6年3月31日)を5,080,000円で発行し、当座預金口座に入金を受けた。当該社債の利払日は毎年9月及び3月末日、約定利子率は年3%であり、額面金額と発行価額との差額は償却原価法(定額法)を適用する。なお、社債利息の支払いに関しては、当座預金口座より行っている。

【解答欄】

1. X1年4月1日(発行日)

借	方	金	額	貸	方	金	額

2. X1年9月30日(利払日)

借	方	金	額	貸	方	金	額

3. X2年3月31日(利払日)

借	方	金	額	貸	方	金	額

4. X2年3月31日(決算整理)

借	方	金	額	貸	方	金	額

解 答 P.160

問題 6 社債 2

ランク 標準時間
A 3 分

大原株式会社は、社債をX1年4月1日に下記の条件で発行した。よって、当期（X1年4月1日～X2年3月31日）における1.発行日、2.利払日(1)X1年9月30日及び(2)X2年3月31日、3.決算整理において必要な仕訳を示しなさい。

（発行条件）

- (1) 社債額面金額 4,000,000円
- (2) 発行価額 4,120,000円
- (3) 償還期間 5年
- (4) 利払日：毎年9月30日及び3月31日
- (5) 約定利率 年3%
- (6) 実効利子率 年2.36%

社債の会計処理は償却原価法（利息法）を適用している。なお、収支はすべて現金預金勘定を使用し、仕訳が不要な場合は借方科目記入欄に「仕訳なし」と記入すること。また、計算の途中で円未満の端数が生じる場合は、円未満を切捨てること。

【解答欄】

		借	方	金	額	貸	方	金	額
1.									
2.	(1)								
	(2)								
3.									

解 答 P.160

問題7 社債3

ランク 標準時間
A 6分

次の資料により、1.利払日（9月30日）、2.買入償還（9月30日）、3.利払日（3月31日）、4.決算整理前残高試算表、5.決算整理、6.決算整理後残高試算表において必要な仕訳又は金額を示しなさい。（会計期間：X2年4月1日～X3年3月31日）

期 首 試 算 表		(単位：円)
	社 債	92,350

<資 料>

当期9月30日に上記社債（発行日：X1年10月1日）のうち400口を@92円で当座より支払い買入償還した。（現金預金勘定使用）

- （発行条件）（1）額面金額@100円 （2）発行価額@91.5円
 （3）発行口数1,000口 （4）償還期間5年
 （5）利払日：毎年3月・9月の各末日 （6）利率年4％
 （7）償却原価法（定額法）を適用している。

【解答欄】

1. 利払日（9月30日）

借 方	金 額	貸 方	金 額

2. 買入償還（9月30日）

(1) 償却原価法

借 方	金 額	貸 方	金 額

(2) 買入償還

借 方	金 額	貸 方	金 額

3. 利払日（3月31日）

借 方	金 額	貸 方	金 額

4. 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表		(単位：円)
社 債 利 息 ()	社 債 ()	
	社 債 償 還 益 ()	

5. 決算整理

借 方	金 額	貸 方	金 額

6. 決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表		(単位：円)
社 債 利 息 ()	社 債 ()	
	社 債 償 還 益 ()	

解 答 P. 160

問題 8 社債 4

ランク 標準時間
A 3 分

次の資料により、損益勘定及び残高勘定を示しなさい。

(会計期間：X4年 4 月 1 日～X5年 3 月31日)

＜資料 1＞ 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表				(単位：円)
社 債 利 息	75,000	社 債	2,910,000	

＜資料 2＞ 社債に関する事項

1. 残高試算表上の社債はX2年 4 月 1 日に発行価額@95円（額面@100円）で30,000口を発行したものである（償還期間 5 年）。利払日は毎年 3 月及び 9 月の各末日であり、約定利子率年 5 %、償却原価法（定額法）を適用している。
2. X4年 9 月30日に社債10,000口を額面@100円につき@97.2円で買入償還したが未処理である。なお、3 月末日の利払日における処理も未処理である。
3. 過年度における償却は適正に行われている。

【解答欄】

(日付省略)	損	益
社 債 利 息 ()	()	()
(日付省略)	残 高	
	社 債 ()	

解 答 P. 161

問題 9 社債 5

ランク 標準時間
A 4 分

次の資料により、1. 利払日（9月30日）、2. 買入償還、3. 利払日（3月31日）、4. 決算整理において必要な仕訳を示しなさい。なお、仕訳が必要ない場合は借方科目記入欄に「仕訳なし」と記入しなさい。（会計期間：X2年4月1日～X3年3月31日）

期 首 試 算 表		(単位：円)
	社 債	92,245

<資 料>

当期9月30日に上記社債（発行日：X1年10月1日）のうち400口を@92円で当座より支払い買入償還した。（当座勘定使用）

- （発行条件）（1）額面金額@100円 （2）発行価額@91.5円
 （3）発行口数1,000口 （4）償還期間5年
 （5）利払日：毎年3月・9月の各末日 （6）約定利率年4％
 （7）実効利子率年6％ （8）償却原価法（利息法）を適用している。
 （9）円未満の端数が生じた場合には、四捨五入すること。

【解答欄】

1. 利払日（9月30日）

借 方	金 額	貸 方	金 額

2. 買入償還（9月30日）

借 方	金 額	貸 方	金 額

3. 利払日（3月31日）

借 方	金 額	貸 方	金 額

4. 決算整理（3月31日）

借	方	金	額	貸	方	金	額

解 答 P. 161

問題10 社債 6

ランク 標準時間
A 3分

次の資料により、損益勘定及び残高勘定を示しなさい。なお、円未満の端数が生じた場合には、四捨五入すること。

（会計期間：X4年4月1日～X5年3月31日）

決算整理前残高試算表				（単位：円）	
当	座	1,287,600	社	債	2,919,489
社	債	利	息	89,756	

<資 料>

1. 残高試算表上の社債はX2年4月1日に発行価額@95円（額面@100円）で30,000口を発行したものである（償還期間5年）。利払日は毎年3月及び9月の各末日であり、約定利子率年5%、実効利子率年6.18%として償却原価法（利息法）を適用している。
2. X4年9月30日に社債10,000口を額面@100円につき@97.2円で買入償還し小切手を振出したが未処理である。なお、3月末日の利払日における処理も未処理である。
3. 過年度における償却は適正に行われている。

【解答欄】

（日付省略）		損	益
社	債	利	息
		（	）
（日付省略）		残	高
当	座	（	）
		社	債
		（	）

解 答 P. 162

問題11 社債 7

ランク 標準時間
A 5分

次の資料に基づき、決算整理後残高試算表を作成しなさい。

(会計期間：X3年 4 月 1 日～X4年 3 月31日)

<資料 1> 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表				(単位：円)
仮	払	金	982,500	社
社	債	利	息	2,887,500
			87,500	

<資料 2> 社債に関する事項

1. 決算整理前残高試算表の社債は、X2年 1 月 1 日に発行価額@95円（額面@100円）で 30,000口を発行したものである（満期日：X6年12月31日）。利払日は毎年 6 月及び12月の各末日であり、約定利子率年 5 %、償却原価法（定額法）を適用している。
2. X3年 9 月30日に社債10,000口を額面@100円につき@97円で買入償還し、また、端数利息の支払いを行っているがいずれも支払額を仮払金で処理したのみである。
3. 利払日の処理は適正に行われている。

【解答欄】

決算整理後残高試算表				(単位：円)
社	債	利	息 ()	未 払 社 債 利 息 ()
社	債	償	還 損 ()	社 債 ()

解 答 P. 162

問題12 新株予約権付社債 1

次の仕訳を示しなさい。(現金預金勘定使用)

1. X1年4月1日に以下の新株予約権付社債を発行した。
 - (1) 社債券の額面総額：300,000円（額面発行）
 - (2) 償還日：X6年3月31日
 - (3) 転換社債型新株予約権付社債であり、社債の対価部分は270,000円、新株予約権の対価部分は30,000円として区分法により処理する。
 - (4) 社債については償却原価法（定額法）を適用する。
2. 決算（X2年3月31日）をむかえた。
3. X2年9月30日に新株予約権のうち発行総数の30%が行使され、新株を発行した。なお、資本金組入額は会社法に規定する最低額とする。
4. X3年3月31日に新株予約権のうち発行総数の20%が行使され、自己株式を交付した。なお、交付した自己株式の帳簿価額は60,000円である。
5. 決算（X3年3月31日）をむかえた。
6. X6年3月30日、権利行使期間が満了した。

【解答欄】

	借 方	金 額	貸 方	金 額
1.				
2.				
3.				
4.				
5.				
6.				

問題13 新株予約権付社債 2

ランク 標準時間
A 3分

以下の資料に基づき決算整理後残高試算表を作成しなさい。

(会計期間：X3年4月1日～X4年3月31日)

<資料1> 前期末残高勘定

(日付省略)	残	高
	社 債	420,000
	資 本 金	900,000
	資 本 準 備 金	720,000
	新 株 予 約 権	(各自推算)

<資料2> 新株予約権付社債に関する事項

前期末残高勘定の社債及び新株予約権は以下の条件で前期首に転換社債型新株予約権付社債の発行により生じたものであるが、当期9月30日（権利行使期間中）において初めて40%の権利行使がなされ、新株を発行している。なお、前期における処理は適正に行われている。

<発行条件>

1. 社債の額面総額 500,000円（額面発行）
2. 新株予約権の対価部分 100,000円
3. 当該社債は区分法により処理する。
4. 償還期間 5年
5. 資本金組入額は会社法に規定する最低限度額とする。
6. 償却原価法の適用にあたっては、定額法によるものとする。
7. 本社債に利息は付さない。

【解答欄】

決算整理後残高試算表		(単位：円)
社 債 利 息 ()	社 債 ()	
	資 本 金 ()	
	資 本 準 備 金 ()	
	新 株 予 約 権 ()	

解 答 P. 164

問題14 新株予約権付社債 3

ランク 標準時間
A 4分

次の仕訳を一括法により示しなさい。なお、代金の受払いはすべて現金預金とする。また、仕訳が必要ない場合は借方科目記入欄に「仕訳なし」と記入しなさい。

(決算年1回 3月31日)

1. X1年4月1日に以下の条件で転換社債型新株予約権付社債を発行し、全額の払込みを受けた。
 - (1) 社債券の額面総額 12,000,000円(額面発行)
 - (2) 償還日 X6年3月31日
 - (3) 資本金組入額は会社法規定の最低限度額とする。
2. 決算をむかえた。(X2年3月31日)
3. X2年4月1日に新株予約権の発行総数のうち25%が行使され、新株の発行に代えて保有している自己株式60株(帳簿価額は1株あたり46,200円)を交付した。
4. X2年10月1日に新株予約権の発行総数のうち55%が行使され、新株を発行した。

【解答欄】

	借 方	金 額	貸 方	金 額
1.				
2.				
3.				
4.				

解 答 P. 164

問題15 新株予約権付社債 4

ランク 標準時間
A 2分

次に掲げる資料に基づき、解答欄の決算整理後残高試算表を作成しなさい。

(会計期間：X2年4月1日～X3年3月31日)

<資料1> 期首試算表

期 首 試 算 表			(単位：円)
	社 債		1,000,000
	資 本 金		50,000,000
	資 本 準 備 金		2,500,000
	その他資本剰余金		2,000,000

<資料2> 新株予約権付社債に関する事項

1. 期首試算表の社債は、X1年4月1日に以下の条件で発行された新株予約権付社債である。
 - (1) 額面総額：1,000,000円（額面発行）
 - (2) 償還日：X6年3月31日
 - (3) 転換社債型新株予約権付社債であり、一括法による会計処理を行っている。
2. X2年9月30日に新株予約権のうち、発行総数の30%が行使され、新株を1,000株発行した。なお、資本金組入額は会社法に規定する最低限度額とする。

【解答欄】

決算整理後残高試算表			(単位：円)
	社 債	()	
	資 本 金	()	
	資 本 準 備 金	()	
	その他資本剰余金	()	

解 答 P.164

問題16 新株予約権付社債 5

ランク 標準時間
A 3分

当社は以下の発行条件でX1年4月1日に転換社債型新株予約権付社債を発行している。下記の資料に基づき、決算整理後残高試算表を作成しなさい。

(会計期間：X2年4月1日～X3年3月31日)

<資料1> 発行条件

額 面 総 額：200,000千円

発 行 価 額：180,000千円

償 還 日：X6年3月31日

利 率：利息は付さない

そ の 他：一括法により処理し、償却原価法の適用にあたっては定額法によること。

なお、新株の発行時に出資された額は、全額資本金とすること。

<資料2> 当期の取引

当期9月30日に額面40,000千円について新株予約権の行使請求があり、新株を発行した。前期末時点の資本金は500,000千円であり、当該転換社債型新株予約権付社債の権利行使以外に当期の変動はない。また、当社は当該転換社債型新株予約権付社債以外の社債は発行していない。

【解答欄】

決算整理後残高試算表				(単位：千円)
社 債 利 息 (	)	社 債 (	)	
		資 本 金 (	)	

解 答 P. 165

問題17 純資産 1

ランク 標準時間
A 5分

次の自己株式に関する一連の仕訳を示しなさい。(決算年 1 回 3 月 31 日)

1. 8 月 1 日、当社は自己株式 50 株を @117,000 円で取得し代金は取得に伴う手数料 600,000 円とともに、当座預金口座より支払った。
2. 12 月 25 日、当社は自己株式 30 株を @119,000 円で追加取得し代金は取得に伴う手数料 350,000 円とともに、当座預金口座より支払った。
3. 1 月 8 日、自己株式 50 株を @123,000 円で処分し代金は当座預金口座に振込まれた。
4. 2 月 20 日、自己株式 20 株を消却した。
5. 3 月 31 日、自己株式の時価は @127,000 円であった。なお、当期末におけるその他資本剰余金の金額は貸方残高である。

(留意事項)

1. 自己株式の払出単価の決定方法は移動平均法を採用している。
2. 仕訳不要の際は、借方欄に「仕訳なし」と記入すること。

【解答欄】

1. 8月1日

借	方	金	額	貸	方	金	額

2. 12月25日

借	方	金	額	貸	方	金	額

3. 1月8日

借	方	金	額	貸	方	金	額

4. 2月20日

借	方	金	額	貸	方	金	額

5. 3月31日

借	方	金	額	貸	方	金	額

解 答 P. 165

問題18 純資産 2

ランク 標準時間
A 4分

次の資料に基づき、以下の一連の取引の仕訳を示しなさい。

また、代金の受払いはすべて当座預金とする。

＜資 料＞ 新株予約権の発行に関する事項

1. 発行総数 150個（1個につき2株）
2. 発行価額 1個につき100円
3. 新株予約権の行使の際の払込金額
総額 1株につき1,080円
4. 権利行使がなされた際に新株式を発行する場合は、会社法に規定する最低額を資本金に組み入れる。

【解答欄】

1. 発行時

借	方	金	額	貸	方	金	額

2. 新株予約権72個の権利行使があり、新株を発行した。

借	方	金	額	貸	方	金	額

3. 新株予約権47個の権利行使があり、当社保有の当社普通株式（帳簿価額は1株あたり1,050円）を交付した。

借	方	金	額	貸	方	金	額

4. 権利行使期間満了時（新株予約権31個が未行使）

借	方	金	額	貸	方	金	額

解 答 P. 165

問題19 純資産3

ランク 標準時間
A 8分

A社のX2年度（X2年4月1日～X3年3月31日）における株主資本等に変動をもたらす取引に関連する＜資料1＞～＜資料6＞に基づいて、＜資料6＞X2年度の株主資本等変動計算書の空欄①～⑥の金額を答えなさい。なお、マイナスの時は金額の前に「△」を付すこと。

（解答上の留意事項）

X2年度においてA社の株主資本等に変動をもたらす取引は、下記記載事項以外にはなかった。

＜資料1＞ 自己株式に関連する事項

1. X2年4月10日に自己株式300株を1株あたり19千円で取得した。
2. X2年7月1日に以下の内容の資金調達を行った。

なお、新株発行に対応する払込金額はすべて資本金とする。

- (1) 募集株式数：1,000株（新株の発行600株、自己株式の処分400株）
- (2) 払込金額：19,000千円
- (3) 自己株式の帳簿価額は、移動平均法により算定している。

なお、X1年度末における自己株式の帳簿価額は1株あたり20千円である。

＜資料2＞ その他有価証券に関連する事項

1. X2年度末において保有しているその他有価証券は以下のとおりである。

銘 柄	数 量	取得原価	期末時価
B社株式	100株	15千円	10千円
C社株式	200株	10千円	13千円

（注） 取得原価及び期末時価は1株当たりの金額である。

2. その他有価証券の会計処理

- (1) 評価差額の処理方法として全部純資産直入法を採用している。
- (2) その他有価証券評価差額金については、税効果を認識する。

なお、税効果会計適用に際しての法定実効税率は40%であり、繰延税金資産の回収可能性及び繰延税金負債の支払可能性に問題はないものとする。

<資料3> 転換社債型新株予約権付社債に関連する事項

1. X1年4月1日に転換社債型新株予約権付社債を以下の条件で発行した。

発行額面総額 : 50,000千円

発行価額 : 47,000千円

期間 : X1年4月1日からX4年3月31日

利率 : 0%

(1) 新株予約権は、社債の額面額1,000千円につき1個（1個につき5株）付与し、その行使価格は1株当たり200千円である。

(2) 会計処理に当たっては一括法を、償却原価法の適用に当たっては定額法（月割計算）を採用している。

2. X2年9月30日に額面20,000千円について新株予約権の行使請求があり、新株を発行した。

なお、新株予約権の行使における新株の発行時に出資された額はすべて資本金とした。

<資料4> 剰余金の処分に関連する事項

X2年6月30日の株主総会において、以下のように剰余金の処分が承認された。

配当財産の種類 : 金銭

配当総額 : 70,000千円

配当財源 : 繰越利益剰余金から50,000千円、
その他資本剰余金から20,000千円

配当の効力が生じる日 : X2年6月30日

なお、準備金の積立てについては、会社法に定める最低額を設定した。

<資料5> 株主資本等に変動をもたらすその他の事項

X2年度における当期純利益は、100,000千円であった。

＜資料 6＞ X2年度の株主資本等変動計算書

株主資本等変動計算書

自X2年4月1日 至X3年3月31日

(単位：千円)

	株主資本								評価・換算 差額等	純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式			株主資本 合計
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他 利益剰余金					
						繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計				
当期末残高	3,000,000	300,000	100,000	400,000	200,000	250,000	450,000	△4,000	3,846,000	△20	3,845,980
当期変動額											
新株の発行											
剰余金の配当				②							
自己株式の取得											
自己株式の処分と 新株の発行による 増減											
当期純利益											
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)										⑤	
当期変動額合計	①								④		
当期末残高						③					⑥

【解答欄】

①		②		③	
④		⑤		⑥	

解 答 P. 166

問題 1 総合問題 1

ランク 標準時間
A 55分

問 1

次の資料に基づいて、決算整理後残高試算表を作成しなさい。なお、当期はX6年4月1日～X7年3月31日である。

<資料1> 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表				(単位：円)
現 金	1,561,500	買 掛 金	5,500,000	
当 座 預 金	12,345,000			
電 子 記 録 債 権	4,700,000			
売 掛 金	6,150,000			
販 売 管 理 費	8,240,000			

<資料2> 決算整理事項

1. 現金に関する事項

決算にあたり金庫の中身を調査したところ、下記のものが保管されていた。現金の帳簿残高と実際有高とに差額が生じた場合には、雑損失または雑収入として処理を行うこと。

内容	金額
貨幣及び紙幣	695,000円
A社振出の小切手（振出日：X7年3月15日）	550,000円
B社振出の小切手（振出日：X7年3月28日）	320,000円
当社振出の小切手（振出日：X7年3月30日）	950,000円

2. 当座預金に関する事項

当期末において、当社の当座預金勘定出納帳の残高と当座預金口座の残高とを照合するために銀行より残高証明書を取り寄せたところ、残高証明書に記載された当座預金口座の残高は13,365,000円であった。原因を調査したところ、下記の事項が判明した。

- (1) 3月分の水道光熱費（各自推算）円（販売管理費勘定使用）の自動引落としが行われていたが、当社に未通知であった。
- (2) 当期3月30日に買掛金の決済のために振出した小切手が、期末現在金庫の中に保管されていた。

- (3) 当期 3 月 31 日の売上代金のうち 200,000 円を銀行に入金をしたが、営業時間外であったため、銀行側では翌日入金として取り扱われていた。
- (4) 決算整理前残高試算表の電子記録債権のうち 830,000 円が、当期中に決済されているが未処理であった。

問 2

次に掲げる取引に基づき各試算表の金額を答えなさい。(決算年 1 回：3 月 31 日)

1. 当期 4 月 1 日に額面金額 40,000,000 円の社債（償還期間 5 年、利率年 3 %、利払日 9 月及び 3 月の各末日）を額面@100 円につき発行価額@94 円の条件で 400,000 口発行し、払込金額は当座預金とした。額面金額と発行価額の差額に対し償却原価法（定額法）を適用する。
2. 9 月 30 日、利払日につき社債利息が、当座預金より引落とされた。
3. 3 月 31 日、利払日につき社債利息が、当座預金より引落とされた。
4. 3 月 31 日、決算をむかえた。

問 3

大原株式会社は、社債を X1 年 4 月 1 日に下記の条件で発行した。当期（X1 年 4 月 1 日～X2 年 3 月 31 日）における各試算表の金額を答えなさい。

（発行条件）

- (1) 社債額面金額 4,000,000 円
- (2) 発行価額 3,734,000 円
- (3) 償還期間 5 年
- (4) 利払日：毎年 9 月 30 日及び 3 月 31 日
- (5) 約定利率 年 3 %
- (6) 実効利子率 年 4.5 %

社債の会計処理は償却原価法（利息法）を適用している。なお、計算の途中で円未満の端数が生じる場合は、円未満を切捨てること。

問 4

以下の資料に基づき、決算整理後残高試算表を作成しなさい。

(会計期間：X2年 4 月 1 日～X3年 3 月31日)

<資料 1> 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表		(単位：円)
有 価 証 券	6,037,500	

<資料 2> 決算整理事項

決算整理前残高試算表の有価証券の内訳は以下のとおりである。なお、取得原価と期末時価は 1 株 (口) あたりの金額を示している。

銘 柄	保 有 目 的	株 (口) 数	取得原価	期末時価	備 考
A 株式	売 買 目 的	5,000株	350円	370円	—
B 社債	満期保有目的	30口	9,500円	9,700円	(注 1)
C 株式	関連会社株式	400株	10,000円	—	(注 2)

(注 1) 前期10月 1 日において285,000円で取得した額面金額300,000円のゼロクーポン債である。満期日はX4年 9 月30日であり、取得原価と額面金額の差額は金利調整によるものであるため、償却原価法 (定額法) を適用する。

(注 2) 市場価格のない株式であり、C 社の財政状態が著しく悪化しているため、実質価額に基づき減損処理を行う。なお、C 社の発行済株式数は2,000株であり、当期末における C 社の財政状態は下記のとおりである。

貸借対照表				(単位：円)			
資	産	金	額	負債・純資産	金	額	
諸	資	産	30,000,000	諸	負	債	22,000,000
				資	本	金	20,000,000
				繰越利益剰余金			△12,000,000
合	計		30,000,000	合	計		30,000,000

問5

次の資料に基づき、決算整理後残高試算表を作成しなさい。なお、円未満の端数が生じた場合には、円未満を切捨てること。(決算年1回3月31日)

＜資料1＞ 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表				(単位：円)
有 価 証 券	2,400,000	仮 受 金	1,965,000	
仮 払 金	1,260,000			

＜資料2＞ 決算整理事項等

決算整理前残高試算表の有価証券はすべて売買目的有価証券であり、当期における売買状況は以下のとおりである。

摘要	単価	株数	手数料
期首	1,200円	2,000株	—
購入	1,250円	1,000株	10,000円
売却	1,320円	1,500株	15,000円
期末	1,280円	(各自推算)株	—

決算整理前残高試算表の仮払金は有価証券の購入時に計上したものであり、仮受金は有価証券の売却時に売却額から売却手数料を控除した金額で計上したものである。なお、売却手数料は売却損益に含めることとし、売却原価の算定は総平均法によること。

問6

次の資料に基づき、決算整理後残高試算表を作成しなさい。

(会計期間：X1年4月1日～X2年3月31日)

1. 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表				(単位：円)
当 座 預 金	6,500,000	貸 倒 引 当 金	62,000	
受 取 手 形	3,400,000			
売 掛 金	5,010,000			
手 形 売 却 損	38,250			

2. 修正事項及び決算整理事項等

(1) 受取手形に関する事項

当期末における受取手形の状況は以下のとおりである。なお、割引手形については、割引時に受取手形勘定から直接控除する形式で記帳している。

得意先名	手持手形	取立手形	割引手形	備 考
A 商事	500,000円	450,000円	300,000円	(注1)
B 商事	200,000円	160,000円	150,000円	(注1、2)
その他	1,200,000円	890,000円	700,000円	(注1)
合計	1,900,000円	1,500,000円	1,150,000円	(注1)

(注1) 手持手形及び取立手形の満期日は、すべて翌期以降である。

(注2) 2月末に割引いていたB商事の3月15日期日の手形150,000円が不渡りとなり、その買戻し金が預金口座から引落とされていたが、未処理である。なお、B商事は、3月中に民事再生手続きの開始申立てがなされたため、B商事に対する債権は破産更生債権等へ振替えること。

(2) 売掛金に関する事項

決算整理前残高試算表の売掛金勘定の内訳は以下のとおりである。

得意先名	残 高
A 商事	1,400,000円
B 商事	350,000円
その他	3,260,000円
合計	5,010,000円

(3) 貸倒引当金に関する事項

- ① 貸倒引当金については差額補充法により処理する。なお、決算整理前残高試算表の貸倒引当金はすべて一般債権に係るものである。
- ② B商事に対する債権については、債権残高の100%相当額の貸倒引当金を設定する。
- ③ B商事以外の債権については一般債権に該当し、債権残高（割引手形を含む）の1%の貸倒引当金を設定する。

問 7

次の資料に基づき、決算整理後残高試算表を作成しなさい。なお、法定実効税率は35%である。(決算年 1 回 3 月 31 日)

<資料 1> 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表		(単位：円)	
投資有価証券	500,000	退職給付引当金	500,000
繰延税金資産	420,000		
賞与手当	1,500,000		
退職給付費用	150,000		

<資料 2> 決算整理事項

1. 決算整理前残高試算表の投資有価証券の内訳は以下のとおりである。

銘柄	取得原価	前期末時価	当期末時価	保有目的
A 社株式	200,000円	180,000円	250,000円	その他
B 社株式	300,000円	340,000円	270,000円	その他

評価差額については、全部純資産直入法により処理し、税効果会計を適用する。なお、繰延税金資産と繰延税金負債は相殺せずに計上すること。

2. 翌期 6 月の賞与支給見込額は 1,200,000 円であり、当期の負担額を賞与引当金として計上する。支給対象期間は毎年 12 月から 5 月及び 6 月から 11 月であり、支給月は 6 月及び 12 月である。なお、賞与引当金については、税効果会計を適用する。
3. 当社は簡便的な方法（期末自己都合要支給額を退職給付引当金とする方法）により退職給付の計算を行っている。前期末自己都合要支給額は 500,000 円、当期末自己都合要支給額は 650,000 円であり、期中における一時金の支給額は退職給付費用に計上している。なお、退職給付引当金については、税効果会計を適用する。

問 8

次に掲げる資料により、決算整理後残高試算表を作成しなさい。

<資 料>

	原 価	売 価
期首繰越商品	201,000円	232,000円
当期商品仕入高	591,000円	
原始値入額		171,000円
値上額		8,000円
値上取消額		2,000円
値下額		11,000円
値下取消額		1,000円
期末商品実地棚卸高		200,000円
当期売上高		770,000円

なお、期末商品の評価については売価還元法を採用しており、貸借対照表価額の算定については収益性の低下を反映させた原価率を期末商品売価に乗じた金額とする。

問9

A社のX1年4月中の商品売買に関する資料に基づいて、(1)①及び②に入る数量及び(2)4月中の商品払出額を答えなさい。なお、商品残高は先入先出法により計算しており、商品売買の記帳は分記法により行っている。

<資料1> 商品有高帳

(先入先出法)

商 品 有 高 帳

日付	摘 要	受 入 欄			払 出 欄			残 高 欄		
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
4/1	前期繰越	①	()	()				()	()	()
5	売 上				120	()	13,800	()	()	()
10	仕 入	240	()	28,800				{ ()	()	6,900
								{ 240	()	28,800
13	売 上				{ ()	()	6,900			
					{ 80	()	()	160	()	()
20	売 上				()	()	9,600	()	()	()
22	売上戻り	②	()	()				()	()	()
27	仕 入	100	()	12,900				{ ()	()	()
								{ 100	()	12,900

(注1) 単位については、数量は個、単価及び金額は円である。

(注2) 4月22日の売上返品は全て4月20日の売上に対するものである。

<資料2> 商品販売益勘定

商 品 販 売 益

4/22 売 掛 金	1,000	4/5 売 掛 金	6,600
		4/13 売 掛 金	7,300
		4/20 売 掛 金	4,000

問10

下記の一連の取引について仕訳を答えなさい。なお、貸付け及び利息の受入は現金勘定を使用する。(会計期間：4月1日～3月31日)

1. 当社はX1年4月1日に丙社に対しX6年3月31日（一括返済）を返済期日として2,200,000円を現金で貸付けた（利払日年1回3月31日後払い、年利率4％）。
2. X2年3月31日、利払日をむかえた。
3. 上記2.の利息を受取った後、丙社の経営悪化を理由に金利を年2％に引下げる契約改定を行った。よって、X2年3月31日の決算時において当該貸付金を貸倒懸念債権に区分し、貸倒引当金をキャッシュ・フロー見積法により設定する。なお、4年4％の現価係数は0.855、4年4％の年金現価係数は3.630である。
4. X3年3月31日、利払日をむかえた。なお、円未満の端数は四捨五入すること。

問11

当社は小規模な会社であるため、簡便な方法により退職給付費用を計算している。よって、下記の資料に基づき、各試算表を答えなさい。なお、当社は退職給付として退職一時金制度及び企業年金制度を採用している。

<資 料>

(単位：円)

期首	自己都合要支給額	2,500,000
	年金財政計算上の数理債務の額	1,200,000
	年金資産の公正な評価額	800,000
期中	退職一時金支給額	140,000
	掛金拠出額	90,000
期末	自己都合要支給額	2,540,000
	年金財政計算上の数理債務の額	1,380,000
	年金資産の公正な評価額	900,000

計算にあたっては、各時点の自己都合要支給額及び年金財政計算上の数理債務の額を退職給付債務とする。

問12

次の資料に基づいて、①から⑧の金額を求めなさい。

＜資 料＞ 各記帳方法における決算整理前残高試算表及び決算整理後残高試算表

1. 三分法

決算整理前残高試算表				(単位：円)
繰越商品	(①)	売	上	1,000
仕入	600			
決算整理後残高試算表				(単位：円)
繰越商品	(②)	売	上	1,000
仕入	700			
棚卸減耗損	20			

2. 売上原価計上法

決算整理前残高試算表				(単位：円)
商品	250	売	上	()
売上原価	(③)			
決算整理後残高試算表				(単位：円)
商品	()	売	上	(④)
売上原価	()			
棚卸減耗損	(⑤)			

3. 分記法

決算整理前残高試算表				(単位：円)
商品	(⑥)	商品販売益		300
決算整理後残高試算表				(単位：円)
商品	(⑦)	商品販売益	()	
棚卸減耗損	()			

4. 総記法

決算整理前残高試算表		(単位：円)
	商 品 (⑧)	
決算整理後残高試算表		(単位：円)
商 品 ()	商 品 販 売 益 ()	
棚 卸 減 耗 損 ()		

問13

次の資料に基づき、空欄①から⑤の金額を答えなさい。(決算日：3月31日)

<資料1> 期首試算表 (一部)

期 首 試 算 表		(単位：円)
建 物 2,000,000	未 払 法 人 税 等 200,000	
車 両 (①)	減 価 償 却 累 計 額 1,008,000	
	繰 越 利 益 剰 余 金 10,000,000	

<資料2> 当期末の損益勘定 (一部)

損		益	
減 価 償 却 費 96,000		有 価 証 券 売 却 損 益 10,000	
車 両 売 却 損 16,000		有 価 証 券 評 価 損 益 (②)	
法 人 税 等 500,000			

<資料3> 当期末の残高勘定 (一部)

残		高	
有 価 証 券 280,000		未 払 法 人 税 等 (③)	
建 物 2,000,000		減 価 償 却 累 計 額 (④)	
車 両 700,000		繰 越 利 益 剰 余 金 10,310,000	

＜資料４＞ 期中取引等

- １．期中に配当金400,000円を支払い、同時に配当金額の10分の１の利益準備金の積立を行った。
- ２．期中に車両（期首減価償却累計額108,000円）を70,000円で下取りに出し、新たに車両を購入した。なお、下取価額を控除した残額230,000円については小切手を振出して支払った。また、決算整理前残高試算表の減価償却費の金額は6,000円である。
- ３．期中に有価証券（売買目的で保有）を初めて取得し、その一部を売却した。なお、取得による支出は400,000円、売却による収入は150,000円であった。
- ４．当期における法人税等の納付額は430,000円であった。
- ５．当期純利益は（ ⑤ ）円であった。

答案用紙 P. 238

解 答 P. 186

評 点	所要時間
／70点	／55分

ク ラ ス	氏 名

問題 1 - 70点 -

問 1

決算整理後残高試算表				(単位：円)
現 金	()	買 掛 金	()	
当 座 預 金	()	雑 収 入	()	
電 子 記 録 債 権	()			
売 掛 金	6,150,000			
販 売 管 理 費	()			

問 2

1. 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表		(単位：円)
社 債 利 息 ()	社 債 ()	

2. 決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表		(単位：円)
社 債 利 息 ()	社 債 ()	

問 3

1. 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表		(単位：円)
社 債 利 息 ()	社 債 ()	

2. 決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表		(単位：円)
社 債 利 息 ()	社 債 ()	

問 4

決算整理後残高試算表				(単位：円)
有 価 証 券	()	有 価 証 券 利 息	()	
投 資 有 価 証 券	()	有 価 証 券 評 価 損 益	()	
関 係 会 社 株 式	()			
関 係 会 社 株 式 評 価 損	()			

問 5

決算整理後残高試算表				(単位：円)
有 価 証 券	()	有 価 証 券 売 却 損 益	()	
		有 価 証 券 評 価 損 益	()	

問 6

決算整理後残高試算表		(単位：円)
当 座 預 金 ()	貸 倒 引 当 金 ()	
受 取 手 形 ()		
売 掛 金 ()		
破 産 更 生 債 権 等 ()		
貸 倒 引 当 金 繰 入 ()		
手 形 売 却 損 ()		

問 7

決算整理後残高試算表		(単位：円)
投 資 有 価 証 券 ()	賞 与 引 当 金 ()	
繰 延 税 金 資 産 ()	退 職 給 付 引 当 金 ()	
賞 与 手 当 1,500,000	繰 延 税 金 負 債 ()	
退 職 給 付 費 用 ()	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 ()	
賞 与 引 当 金 繰 入 ()	法 人 税 等 調 整 額 ()	

問 8

決算整理後残高試算表		(単位：円)
繰 越 商 品 ()	売 上 ()	
仕 入 ()		
棚 卸 減 耗 損 ()		
商 品 評 価 損 ()		

問 9

(1)	①		②	
(2)				

問10

	借 方	金 額	貸 方	金 額
1.				
2.				
3.				
4.				

問11

1.

期 首 試 算 表		(単位：円)
	退 職 給 付 引 当 金	()

2.

決算整理前残高試算表		(単位：円)
	退 職 給 付 引 当 金	()

3.

決算整理後残高試算表		(単位：円)
退 職 給 付 費 用	()	退 職 給 付 引 当 金 ()

問12

①		②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	

問13

①		②		③	
④		⑤			

個別解答編

問題 1

解答

①	180,000	②	52,000
---	---------	---	--------

解説

1. 売上グループ

受 取 手 形	
期首	120,000
売掛金	
	1,939,000
(1,964,000)	期末
	145,000

売 掛 金	
期首	(180,000)
売上	
	1,964,000
1,980,000	貸倒れ
	1,000
	期末
	195,000

貸 倒 引 当 金	
貸倒れ	期首
	3,000
(1,000)	繰入
期末	
6,800	4,800

2. 仕入グループ

支 払 手 形	
現金預金	期首
	75,000
1,376,000	買掛金
期末	
82,000	(1,383,000)

買 掛 金

支払手形	期首
	95,000
1,383,000	当期仕入
期末	
106,000	(1,394,000)

商 品 B O X

期首	(52,000)
当期仕入	
	1,386,000
1,394,000	期末
	※ 60,000

※ 後T/B繰商 棚減
55,000 + 5,000 = 60,000

問題 2

解答

①	29,200	②	150	③	390,000
④	21,000	⑤	17,900		

解説

1. 仕入グループ

支 払 手 形	
現金預金	期首
	22,500
391,500	買掛金
期末	
27,000	(396,000)

買 掛 金	
支払手形	期首
	43,500
396,000	仕入
期末	
45,000	(397,500)

商 品 B O X	
期首	52,500
当期	
	③の金額 (390,000)
397,500	期末
	60,000

2. 売上グループ

受 取 手 形	
期首 ①の金額 (29,200)	現金預金
売掛金	512,000
516,800	期末 34,000
売 掛 金	
期首 56,000	受取手形 (516,800)
売上	貸倒引当金 600
520,000	貸倒損失 500
	期末 58,100
貸 倒 引 当 金	
売掛金 (600)	期首 1,290
期末 920	繰入 230

3. 販売費

販 売 費	
期首前払 210	期首未払 180
当期支払 17,900	期末前払 ②の金額 (150)
前T/B 17,930	後T/B 17,910
期末未払 130	
※ 前T/B 期首未払 期首前払 $17,930 + 180 - 210 = 17,900$	
(⑤の金額)	

4. 法人税等

(1) 期首未払法人税等の納付

(未払法人税等) 9,000 (現金預金) 9,000

(2) 中間納付

(仮払法人税等) 8,000 (現金預金) 8,000

※ 当期納付額 上記(1)
 $17,000 - 9,000 = 8,000$

(3) 決算整理

(法人税等) 21,000 (仮払法人税等) 8,000
 (未払法人税等) 13,000

※ 貸方合計 (④の金額)

問題 3

解答

①	1,545,000	②	18,000	③	40,000
④	550,000	⑤	223,980		

解説

1. ①の金額 1,545,000

※

減価償却累計額	
備品売却 240,000	期首 (1,545,000)
後T/B 1,745,000	減価償却 440,000

減 価 償 却 費	
備品売却 前T/B 120,000	後T/B 560,000
減価償却 (440,000)	

2. ②の金額 18,000[※]

※

(現金預金) 278,000 (有価証券) 260,000^(注)
 (有価証券売却損益) 貸借差額 18,000

(注)(1) $\frac{524,000 + 256,000}{1,000株 + 500株} = @520$

(2) $500株 \times @520 = 260,000$

3. ③の金額 40,000[※]

※

(減価償却累計額) 240,000 (備品) 800,000
 (減価償却費) 120,000 (備品売却益) 貸借差額 40,000

(現金預金) 480,000

4. ④の金額 550,000[※]

※

有 価 証 券

期首 1,000株 524,000	期中売却 500株 上記2.※(注) 260,000
期中取得 500株 256,000	後T/B (550,000)
時価評価 30,000	

5. ⑤の金額 223,980[※]

※

営 業 費

当期支払 220,000	期首未払 280
未払金 4,000	後T/B (223,980)
期末未払 260	

問題 4

解答

①	180,000	②	1,200	③	390,000
④	1,300	⑤	599,500	⑥	△ 78,000

解説

1. 売上グループ (売上取引を全て掛で行ったものとみなして計算している。)

受 取 手 形

期首 120,000	営業収入
売掛金 619,500	⑤の金額 (599,500)
	期末 140,000

売 掛 金

期首 300,000	受取手形
売上 640,000	(619,500)
	貸倒れ 500
	期末 320,000

貸 倒 引 当 金

貸倒れ 500	期首 8,400
期末 9,200	繰入
	④の金額 (1,300)

2. 仕入グループ（仕入取引を全て掛で行ったものとみなして計算している。）

支 払 手 形

仕入支出	期首
	85,000
466,000	買掛金
期末	
75,000	(156,000)

買 掛 金

支払手形	期首
	①の金額 (180,000)
456,000	当期仕入
期末	
210,000	下記商品BOX 486,000

商 品 B O X

期首	売上原価
34,500	
当期仕入	480,000
(486,000)	期末
	※ 40,500

B/S商品 棚減
※ 40,000 + 500 = 40,500

3. 営業費

営 業 費

当期支払	期首未払
	800
47,600	P/L
期末未払	
②の金額 (1,200)	48,000

4. 有価証券

有 価 証 券

期首	売却
	※ 100,000
372,000	
取得	⑥の金額 (78,000)
	期末
有価証券評価益	385,000
35,000	

C/F売却収入 P/L売却益
※ 108,000 - 8,000 = 100,000

5. 固定資産

- (1) 建物勘定

建 物

期首	売却
800,000	
取得	(500,000)
C/F有固支出 600,000	期末
	900,000

- (2) 売却時の仕訳

(減価償却) 貸借差額
(累計額) 360,000 (建物) 500,000
(減価償却費) 4,500 (建物売却益) 8,500
(現金預金) C/F売却収入
144,000

- (3) 減価償却費及び減価償却累計額

減 価 償 却 費

売却	
4,500	P/L
決算整理	
(12,000)	16,500

減価償却累計額

売却	期首	③の金額 (390,000)
360,000	決算整理	
期末	42,000	12,000

問題 5

解答

1. X1年4月1日(発行日)
(当座預金)5,080,000 (社 債)5,080,000
2. X1年9月30日(利払日)
(社債利息) 75,000^{*} (当座預金) 75,000
※ $5,000,000 \times 3\% \times \frac{6\text{ヶ月}}{12\text{ヶ月}} = 75,000$
3. X2年3月31日(利払日)
(社債利息) 75,000^{*} (当座預金) 75,000
※ $5,000,000 \times 3\% \times \frac{6\text{ヶ月}}{12\text{ヶ月}} = 75,000$
4. X2年3月31日(決算整理)
(社 債) 16,000 (社債利息) 16,000^{*}
※ $(5,080,000 - 5,000,000) \times \frac{12\text{ヶ月}}{60\text{ヶ月}} = 16,000$

問題 6

解答

1. 発行日
(現金預金)4,120,000 (社 債)4,120,000
2. 利払日
(1) X1年9月30日
(社債利息) 48,616^{※1} (現金預金) 60,000^{※2}
(社 債) 11,384^{貸借差額}
※1 $4,120,000 \times 2.36\% \times \frac{6\text{ヶ月}}{12\text{ヶ月}} = 48,616$
※2 $4,000,000 \times 3\% \times \frac{6\text{ヶ月}}{12\text{ヶ月}} = 60,000$
- (2) X2年3月31日
(社債利息) 48,481^{※1} (現金預金) 60,000^{※2}
(社 債) 11,519^{貸借差額}
※1 $(4,120,000 - 11,384) \times 2.36\% \times \frac{6\text{ヶ月}}{12\text{ヶ月}} = 48,481.6 \rightarrow 48,481$
※2 $4,000,000 \times 3\% \times \frac{6\text{ヶ月}}{12\text{ヶ月}} = 60,000$

3. 決算日

仕訳なし

問題 7

解答

1. 利払日(9月30日)
(社債利息) 2,000^{*} (現金預金) 2,000
※ $100,000 \times 4\% \times \frac{6\text{ヶ月}}{12\text{ヶ月}} = 2,000$
(注) @100×1,000口=100,000
2. 買入償還(9月30日)
(1) 償却原価法
(社債利息) 340 (社 債) 340
※① $92,350 \times \frac{400\text{口}}{1,000\text{口}} = 36,940$
② @100×400口=40,000
③ $(40,000 - 36,940) \times \frac{6\text{ヶ月}}{54\text{ヶ月}} = 340$
- (2) 買入償還
(社 債) 37,280^{※1} (現金預金) 36,800^{※2}
(社債償還益) 480^{貸借差額}
※1 $36,940 + 340 = 37,280$
※2 @92×400口=36,800
3. 利払日(3月31日)
(社債利息) 1,200^{*} (現金預金) 1,200
※ $60,000 \times 4\% \times \frac{6\text{ヶ月}}{12\text{ヶ月}} = 1,200$
(注) $\frac{\text{上記1.} \times \text{上記(注) 9/30買入償還分}}{100,000 - 40,000} = 60,000$
4. 決算整理前残高試算表
決算整理前残高試算表 (単位: 円)
- | | |
|---------------|---------------|
| 社債利息 (3,540) | 社 債 (55,410) |
| | 社債償還益 (480) |
5. 決算整理
(社債利息) 1,020^{*} (社 債) 1,020
※ $(60,000 - 55,410) \times \frac{12\text{ヶ月}}{54\text{ヶ月}} = 1,020$
(未償還分 上記4.)
6. 決算整理後残高試算表
決算整理後残高試算表 (単位: 円)
- | | |
|---------------|---------------|
| 社債利息 (4,560) | 社 債 (56,430) |
| | 社債償還益 (480) |

問題 8

解答

(日付省略)	損	益
社債利息 (150,000)	(社債償還益) (3,000)	
(日付省略)	残	高
	社債 (1,960,000)	

解説

決算整理仕訳

1. 買入償還未処理

(1) 償却原価法

$$\begin{array}{l} \text{(社債利息)} \quad 5,000 \quad \text{(社債)} \quad 5,000 \\ \text{※①} \quad 2,910,000 \times \frac{10,000\text{口}}{30,000\text{口}} = 970,000 \end{array}$$

$$\text{②} \quad 3,000,000 \times \frac{10,000\text{口}}{30,000\text{口}} = 1,000,000$$

$$\text{③} \quad (1,000,000 - 970,000) \times \frac{6\text{ヶ月}}{36\text{ヶ月}} = 5,000$$

(2) 買入償還

$$\begin{array}{l} \text{(社債)} \quad 975,000 \quad \text{(現金預金)} \quad 972,000 \\ \text{(社債償還益)} \quad 3,000 \end{array}$$

$$\text{※1} \quad 970,000 + 5,000 = 975,000$$

$$\text{※2} \quad @97.2 \times 10,000\text{口} = 972,000$$

2. 利払日未処理

$$\begin{array}{l} \text{(社債利息)} \quad 50,000 \quad \text{(現金預金)} \quad 50,000 \\ \text{※} \quad 2,000,000 \times 5\% \times \frac{6\text{ヶ月}}{12\text{ヶ月}} = 50,000 \end{array}$$

3. 償却原価法

$$\begin{array}{l} \text{(社債利息)} \quad 20,000 \quad \text{(社債)} \quad 20,000 \\ \text{※} \quad (2,000,000 - 1,940,000) \times \frac{12\text{ヶ月}}{36\text{ヶ月}} = 20,000 \end{array}$$

	X4 4/1	X4 9/30	X5 3/31	X7 3/31
2,910,000				3,000,000
償還分	970,000	+ 5,000	975,000	1,000,000
未償還分	1,940,000	+ 20,000	1,960,000	2,000,000

問題 9

解答

1. 利払日 (9月30日)

$$\begin{array}{l} \text{(社債利息)} \quad 2,767 \quad \text{(当座)} \quad 2,000 \\ \text{(社債)} \quad 767 \end{array}$$

$$\text{※1} \quad 92,245 \times 6\% \times \frac{6\text{ヶ月}}{12\text{ヶ月}} = 2,767.35 \rightarrow 2,767$$

$$\text{※2} \quad 100,000 \times 4\% \times \frac{6\text{ヶ月}}{12\text{ヶ月}} = 2,000$$

$$\text{(注)} \quad @100 \times 1,000\text{口} = 100,000$$

2. 買入償還 (9月30日)

$$\begin{array}{l} \text{(社債)} \quad 37,205 \quad \text{(当座)} \quad 36,800 \\ \text{(社債償還益)} \quad 405 \end{array}$$

$$\text{※1} \quad 93,012 \times \frac{400\text{口}}{1,000\text{口}} = 37,204.8 \rightarrow 37,205$$

$$\text{※2} \quad @92 \times 400\text{口} = 36,800$$

3. 利払日 (3月31日)

$$\begin{array}{l} \text{(社債利息)} \quad 1,674 \quad \text{(当座)} \quad 1,200 \\ \text{(社債)} \quad 474 \end{array}$$

$$\text{※1} \quad 55,807 \times 6\% \times \frac{6\text{ヶ月}}{12\text{ヶ月}} = 1,674.21 \rightarrow 1,674$$

$$\text{(注)} \quad 93,012 - 37,205 = 55,807$$

$$\text{※2} \quad 60,000 \times 4\% \times \frac{6\text{ヶ月}}{12\text{ヶ月}} = 1,200$$

$$\text{(注)} \quad 100,000 - 40,000 = 60,000$$

4. 決算整理 (3月31日)

仕訳なし

	X1 10/1	X2 4/1	9/30	X3 3/31	X6 9/30
91,500	+ 745	92,245	+ 767	93,012	100,000
償還分			37,205		40,000
未償還分			55,807	+ 474	56,281
					60,000

問題10

解答

(日付省略) 損 益

社債利息 (149,897) (社債償還益) (1,163)

(日付省略) 残 高

当座 (265,600) 社債 (1,956,467)

解説

決算整理仕訳

1. 買入償還の未処理の仕訳

(社債) 973,163 (当座) 972,000
(社債償還益) 1,163

※1 @97.2×10,000口=972,000

※2 前T/B社債 2,919,489× $\frac{10,000口}{30,000口}$ =973,163

2. 利払日の未処理の仕訳

(社債利息) 60,141 (当座) 50,000
(社債) 10,141

※1 (注) 実効利率 $1,946,326 \times 6.18\% \times \frac{6ヶ月}{12ヶ月}$
=60,141.47...→60,141

(注) 2,919,489 - 973,163 = 1,946,326

※2 (注) $2,000,000 \times 5\% \times \frac{6ヶ月}{12ヶ月}$ = 50,000

(注) 3,000,000 - 1,000,000 = 2,000,000

問題11

解答

決算整理後残高試算表 (単位：円)

社債利息 (150,000) 未払社債利息 (25,000)

社債償還損 (2,500) 社債 (1,945,000)

解説

1. 買入償還時の修正

(1) 償却原価法

(社債利息) 5,000 (社債) 5,000

※① $2,887,500 \times \frac{10,000口}{30,000口}$ = 962,500

② 10,000口×@100=1,000,000

③ $(1,000,000 - 962,500) \times \frac{6ヶ月}{45ヶ月}$ = 5,000

(2) 買入償還

(社債) 967,500 (仮払金) 970,000

(社債償還損) 2,500

※1 $962,500 + 5,000$ = 967,500

※2 10,000口×@97=970,000

(3) 端数利息

(社債利息) 12,500 (仮払金) 12,500

※ $1,000,000 \times 5\% \times \frac{3ヶ月}{12ヶ月}$ = 12,500

2. 償却原価法 (未償還分)

(社債利息) 20,000 (社債) 20,000

※(1) $2,887,500 - 962,500$ = 1,925,000

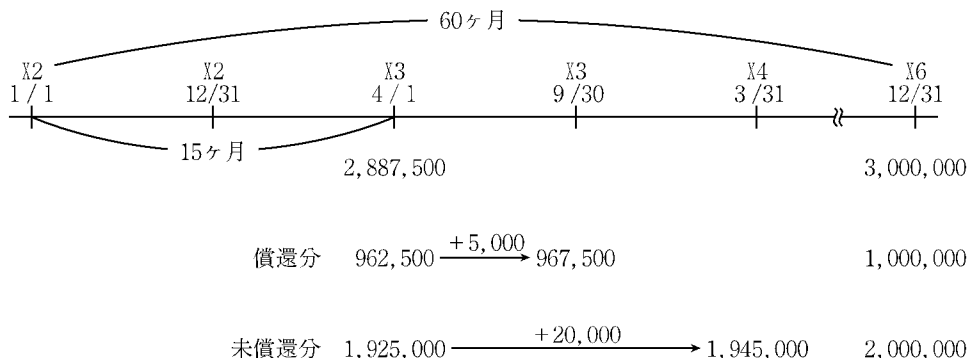
(2) $3,000,000 - 1,000,000$ = 2,000,000

(3) $(2,000,000 - 1,925,000) \times \frac{12ヶ月}{45ヶ月}$ = 20,000

3. 見越計上

(社債利息) 25,000 (未払社債利息) 25,000

※ $2,000,000 \times 5\% \times \frac{3ヶ月}{12ヶ月}$ = 25,000



問題12

解答

1. 発行時 (X1年 4月1日)

(現金預金) 300,000 (社債) 270,000
(新株予約権) 30,000

2. 決算時 (X2年 3月31日)

(社債利息) 6,000 (社債) 6,000
※ (300,000 - 270,000) × $\frac{12\text{ヶ月}}{60\text{ヶ月}}$ = 6,000

3. 新株予約権権利行使時 (X2年 9月30日)

(1) 償却原価法

(社債利息) 900 (社債) 900
※ 償却原価
※① 276,000 × 30% = 82,800
※② 300,000 × 30% = 90,000
※③ (90,000 - 82,800) × $\frac{6\text{ヶ月}}{48\text{ヶ月}}$ = 900

(2) 権利行使

(社債) 83,700 (資本金) 46,350
(新株予約権) 9,000 (資本準備金) 46,350
※1 82,800 + 900 = 83,700
※2 30,000 × 30% = 9,000
※3 (83,700 + 9,000) × $\frac{1}{2}$ = 46,350

4. 新株予約権権利行使時 (X3年 3月31日)

(1) 償却原価法

(社債利息) 1,200 (社債) 1,200
※ 償却原価
※① 276,000 × 20% = 55,200
※② 300,000 × 20% = 60,000
※③ (60,000 - 55,200) × $\frac{12\text{ヶ月}}{48\text{ヶ月}}$ = 1,200

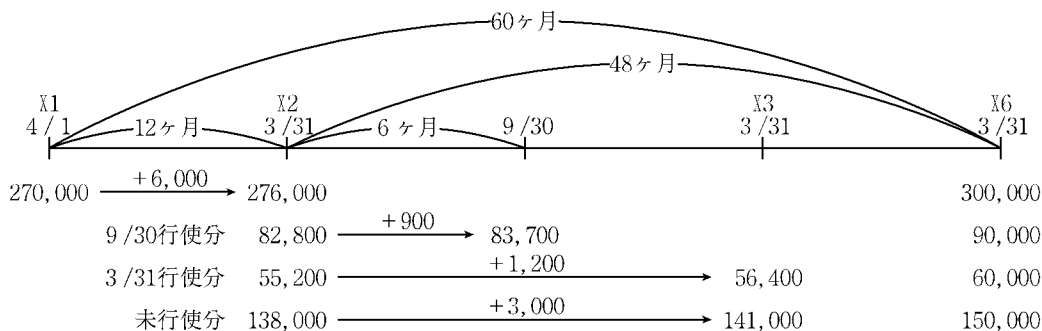
(2) 権利行使

(社債) 56,400 (自己株式) 60,000
(新株予約権) 6,000 (その他) 貸借差額 2,400
※1 55,200 + 1,200 = 56,400
※2 30,000 × 20% = 6,000

5. 決算時 (X3年 3月31日)

(社債利息) 3,000 (社債) 3,000
※ 償却原価
※① 276,000 - (82,800 + 55,200) = 138,000
※② 300,000 - (90,000 + 60,000) = 150,000
※③ (150,000 - 138,000) × $\frac{12\text{ヶ月}}{48\text{ヶ月}}$ = 3,000

(参考)



6. 権利行使期間満了時 (X6年 3月30日)

(新株予約権) 15,000 (新株予約権戻入益) 15,000
※ 30,000 - (9,000 + 6,000) = 15,000

問題13

解答

決算整理後残高試算表 (単位: 円)

社債利息 (16,000)	社債 (264,000)
	資本金 (1,006,000)
	資本準備金 (826,000)
	新株予約権 (60,000)

解説

1. 新株予約権の権利行使時

(1) 償却原価法

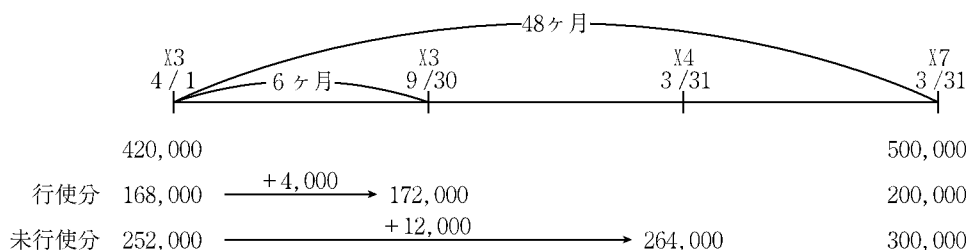
(社債利息)	※	4,000	(社債)	4,000
償却原価				
※①	420,000 × 40% =	168,000		
額面総額				
②	500,000 × 40% =	200,000		
上記②				
③	(200,000 - 168,000) × $\frac{6ヶ月}{48ヶ月}$ =	4,000		

(2) 権利行使

(社債)	※1	172,000	(資本金)	※3	106,000
(新株予約権)	※2	40,000	(資本準備金)	※3	106,000
上記①※①					
※1	168,000 + 4,000 =	172,000			
新株予約権の対価部分					
※2	100,000 × 40% =	40,000			
上記※1					
※3	(172,000 + 40,000) × $\frac{1}{2}$ =	106,000			

2. 決算時

(社債利息)	※	12,000	(社債)	12,000
償却原価				
※①	420,000 - 168,000 =	252,000		
額面総額				
(2)	500,000 - 200,000 =	300,000		
上記②				
(3)	(300,000 - 252,000) × $\frac{12ヶ月}{48ヶ月}$ =	12,000		



問題14

解答

1. 発行時

(現金預金)12,000,000 (社債)12,000,000

2. 決算時

仕訳なし

3. 新株予約権の権利行使時

(社債)	※1	3,000,000	(自己株式)	※2	2,772,000
			(その他)	貸借差額	228,000
			(資本剰余金)		

※1 額面総額 12,000,000 × 25% = 3,000,000

※2 自己株式簿価 @46,200 × 60株 = 2,772,000

4. 新株予約権の権利行使時

(社債)	※1	6,600,000	(資本金)	※2	3,300,000
			(資本準備金)	※2	3,300,000

※1	額面総額 12,000,000 × 55% =	6,600,000
※2	上記※1 $6,600,000 \times \frac{1}{2}$ =	3,300,000

問題15

解答

決算整理後残高試算表 (単位: 円)

社債 (700,000)
資本金 (50,150,000)
資本準備金 (2,650,000)
その他
資本剰余金 (2,000,000)

解説

(社債)	※1	300,000	(資本金)	※2	150,000
			(資本準備金)	※2	150,000
期首T/B社債					
※1	1,000,000 × 30% =	300,000			
上記※1					
※2	300,000 × $\frac{1}{2}$ =	150,000			

問題16

解答

決算整理後残高試算表 (単位: 千円)

社債利息 (3,600)	社 債 (150,400)
	資 本 金 (537,200)

解説

仕訳の単位は千円とする。

1. 前期発行時

(現金預金) 180,000 (社 債) 180,000

2. 前期末 (償却原価法)

(社債利息) 4,000[※] (社 債) 4,000

$$\text{※ (200,000 - 180,000)} \times \frac{12\text{ヶ月}}{60\text{ヶ月}} = 4,000$$

3. 当期権利行使時

(1) 償却原価法

(社債利息) 400[※] (社 債) 400

$$\text{※① } 184,000 \times \frac{40,000}{200,000} = 36,800$$

(注) 発行価額 上記2.
 $180,000 + 4,000 = 184,000$

② (40,000 - 36,800) $\times \frac{6\text{ヶ月}}{48\text{ヶ月}} = 400$

(2) 権利行使

(社 債) 37,200[※] (資 本 金) 37,200

$$\text{※ } 36,800 + 400 = 37,200$$

4. 当期末 (償却原価法)

(社債利息) 3,200[※] (社 債) 3,200

※① $200,000 - 40,000 = 160,000$

② $184,000 - 36,800 = 147,200$

③ $(160,000 - 147,200) \times \frac{12\text{ヶ月}}{48\text{ヶ月}} = 3,200$

問題17

解答

1. 8月1日

(自己株式) 5,850,000[※] (当座預金) 6,450,000
 (支払手数料) 600,000

$$\text{※ } @117,000 \times 50\text{株} = 5,850,000$$

2. 12月25日

(自己株式) 3,570,000[※] (当座預金) 3,920,000
 (支払手数料) 350,000

※ @119,000 $\times 30\text{株} = 3,570,000$

3. 1月8日

(当座預金) 6,150,000^{※1} (自己株式) 5,887,500^{※2}
 (その他の資本剰余金) 262,500^{貸借差額}

※1 @123,000 $\times 50\text{株} = 6,150,000$

※2(1) $\frac{5,850,000 + 3,570,000}{50\text{株} + 30\text{株}} = @117,750$

(2) $@117,750 \times 50\text{株} = 5,887,500$

4. 2月20日

(その他の資本剰余金) 2,355,000[※] (自己株式) 2,355,000[※]

※ $@117,750 \times 20\text{株} = 2,355,000$

5. 3月31日

仕訳なし

問題18

解答

1. 発行時

(当座預金) 15,000 (新株予約権) 15,000

2. 権利行使時 (72個)

(当座預金) 155,520^{※1} (資 本 金) 81,360^{※3}
 (新株予約権) 7,200^{※2} (資本準備金) 81,360^{貸借差額}

※1 $@1,080 \times (72\text{個} \times 2\text{株}) = 155,520$

※2 @100 $\times 72\text{個} = 7,200$

※3 $(155,520 + 7,200) \times \frac{1}{2} = 81,360$

3. 権利行使時 (47個)

(当座預金) 101,520^{※1} (自己株式) 98,700^{※3}
 (新株予約権) 4,700^{※2} (その他の資本剰余金) 7,520^{貸借差額}

※1 $@1,080 \times (47\text{個} \times 2\text{株}) = 101,520$

※2 @100 $\times 47\text{個} = 4,700$

※3 $@1,050 \times (47\text{個} \times 2\text{株}) = 98,700$

4. 行使期間満了時

(新株予約権) 3,100[※] (新株予約権戻入益) 3,100[※]

※ $@100 \times 31\text{個} = 3,100$

問題19

解答

①	30,640	②	△20,000	③	295,000
④	2,060	⑤	80	⑥	3,908,760

解説

1. 自己株式

(1) 取得

(自己株式) 5,700[※] (現金預金) 5,700

※ 300株 × @19 = 5,700

(2) 新株の発行及び自己株式の処分

(現金預金) 19,000 (資本金) 11,240^{※2}
(自己株式) 7,760^{※1}

※1 ① 期首自己株式 4,000 ÷ @20 = 200株

② $\frac{4,000 + 5,700}{200株 + 300株} = @19.4$

③ 400株 × @19.4 = 7,760

※2 ① 19,000 × $\frac{400株}{1,000株} = 7,600$

② 上記※1 7,760 - 上記① 7,600 = 160 (処分差損)

③ 19,000 × $\frac{600株}{1,000株} - \frac{上記②}{160} = 11,240$

2. その他有価証券

(1) B社株式

(繰延税金資産) 200^{※2} (投資有価証券) 500^{※1}
(有価証券) 300^{貸借差額}
(評価差額金)

※1 100株 × (@15 - @10) = 500

※2 500 × 40% = 200

(2) C社株式

(投資有価証券) 600^{※1} (繰延税金負債) 240^{※2}
(有価証券) 360^{貸借差額}
(評価差額金)

※1 200株 × (@13 - @10) = 600

※2 600 × 40% = 240

3. 転換社債型新株予約権付社債

(1) 償却 (権利行使分)

(社債利息) 200[※] (社債) 200

※① 当期首における償却原価

(注) 47,000 + 1,000 = 48,000

(注) (50,000 - 47,000) × $\frac{12ヶ月}{36ヶ月} = 1,000$

② X2年9月30日までの償却額

(注) $(20,000 - 19,200) \times \frac{6ヶ月}{24ヶ月} = 200$

(注) $48,000 \times \frac{20,000}{50,000} = 19,200$

(2) 権利行使

(社債) 19,400[※] (資本金) 19,400

※ 19,200 + 200 = 19,400

4. 剰余金の処分

(繰越利益金) 55,000^{※3} (未払配当金) 70,000
(その他の資本剰余金) 22,000^{※4} (利益準備金) 5,000^{※1}
(資本準備金) 2,000^{※2}

※1 (注) $7,000 \times \frac{50,000}{50,000 + 20,000} = 5,000$

(注) 準備金の積立額

(1) $3,000,000 \times \frac{1}{4} - (300,000 + 200,000) = 250,000$

(2) $70,000 \times \frac{1}{10} = 7,000$

(3) (1) > (2) ∴ 7,000

※2 上記※1 (注) $7,000 \times \frac{20,000}{50,000 + 20,000} = 2,000$

※3 50,000 + 上記※1 5,000 = 55,000

※4 20,000 + 上記※2 2,000 = 22,000

5. 利益振替

(損益) 100,000 (繰越利益金) 100,000

(参考)

株主資本等変動計算書

自X2年4月1日 至X3年3月31日

(単位：千円)

	株主資本								評価・換算 差額等	純資産合計	
	資本剰余金			利益剰余金				株主資本 合計	自己株式		その他 有価証券 評価差額金
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計					
		資本準備金	その他 資本剰余金			資本剰余金 合計	利益剰余金 合計				
当期首残高	3,000,000	300,000	100,000	400,000	200,000	250,000	450,000	△4,000	3,846,000	△20	3,845,980
当期変動額											
新株の発行	19,400								19,400		19,400
剰余金の配当		2,000	△22,000	△20,000	5,000	△55,000	△50,000		△70,000		△70,000
自己株式の取得								△5,700	△5,700		△5,700
自己株式の処分と 新株の発行による 増減	11,240							7,760	19,000		19,000
当期純利益						100,000	100,000		100,000		100,000
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)										80	80
当期変動額合計	30,640	2,000	△22,000	△20,000	5,000	45,000	50,000	2,060	62,700	80	62,780
当期末残高	3,030,640	302,000	78,000	380,000	205,000	295,000	500,000	△1,940	3,908,700	60	3,908,760

総合解答編

問題 1

解答

問 1

決算整理後残高試算表				(単位：円)			
現 金	①(	1,565,000)	買 掛 金	①(	6,450,000)		
当 座 預 金	①(	13,565,000)	雑 収 入	①(	3,500)		
電 子 記 録 債 権	①(	3,870,000)					
売 掛 金		6,150,000					
販 売 管 理 費	①(	8,800,000)					

問 2

1. 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表				(単位：円)			
社 債 利 息	①(	1,200,000)	社 債	①(	37,600,000)		

2. 決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表				(単位：円)			
社 債 利 息	①(	1,680,000)	社 債	①(	38,080,000)		

問 3

1. 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表				(単位：円)			
社 債 利 息	①(	168,570)	社 債	①(	3,782,570)		

2. 決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表				(単位：円)			
社 債 利 息	①(	168,570)	社 債	①(	3,782,570)		

問 4

決算整理後残高試算表				(単位：円)			
有 価 証 券	①(	1,850,000)	有 価 証 券 利 息	①(	5,000)		
投 資 有 価 証 券	①(	292,500)	有 価 証 券 評 価 損 益	①(	100,000)		
関 係 会 社 株 式	①(	1,600,000)					
関 係 会 社 株 式 評 価 損	①(	2,400,000)					

問 5

決算整理後残高試算表				(単位：円)			
有 価 証 券	①(	1,920,000)	有 価 証 券 売 却 損 益	①(	135,000)		
			有 価 証 券 評 価 損 益	①(	90,000)		

問6

決算整理後残高試算表			(単位：円)
当座預金 ①(	6,350,000)	貸倒引当金 ①(	947,000)
受取手形 ①(	3,040,000)		
売掛金 ①(	4,660,000)		
破産更生債権等 ①(	860,000)		
貸倒引当金繰入 ①(	885,000)		
手形売却損 ①(	38,250)		

問7

決算整理後残高試算表			(単位：円)
投資有価証券 ①(	520,000)	賞与引当金 ①(	800,000)
繰延税金資産 ①(	518,000)	退職給付引当金 ①(	650,000)
賞与手当	1,500,000	繰延税金負債 ①(	17,500)
退職給付費用 ①(	300,000)	その他有価証券評価差額金 ①(	13,000)
賞与引当金繰入 ①(	800,000)	法人税等調整額 ①(	87,500)

問8

決算整理後残高試算表			(単位：円)
繰越商品 ①(	158,400)	売上 ①(	770,000)
仕入 ①(	616,000)		
棚卸減耗損 ①(	16,000)		
商品評価損 ①(	1,600)		

問9

(1)	①	①	180	②	①	20
(2)	②					37,500

問10

	借方	金額	貸方	金額	
1.	(貸付金)	2,200,000	(現金)	2,200,000	①
2.	(現金)	88,000	(受取利息)	88,000	①
3.	(貸倒引当金繰入)	159,280	(貸倒引当金)	159,280	②
4.	(現金)	44,000	(受取利息)	81,629	①
	(貸倒引当金)	37,629			

問11

1.

期 首 試 算 表		(単位：円)
	退職給付引当金 ①(	2,900,000)

2.

決算整理前残高試算表		(単位：円)
	退職給付引当金 ①(	2,670,000)

3.

決算整理後残高試算表		(単位：円)
退職給付費用 ①(	350,000)	退職給付引当金 ①(3,020,000)

問12

①	①	350	②	①	230	③	①	700	④	①	1,000
⑤	①	20	⑥	①	250	⑦	①	230	⑧	①	50

問13

①	①	600,000	②	①	20,000	③	①	270,000
④	①	990,000	⑤	①	750,000			

採 点 基 準
②点×2個=4点
①点×66個=66点
計 <u>70点</u>

解説

問 1

1. 現金

(現金) 3,500 (雑収入) 3,500

※(1) 実際有高: $695,000 + 550,000$
 $+ 320,000 = 1,565,000$

(2) $1,565,000 - 1,561,500 = 3,500$

2. 当座預金

(1) 水道光熱費の未通知

(販売管理費) 560,000 (当座預金) 560,000

※ 下記<参考>参照

(2) 未渡小切手

(当座預金) 950,000 (買掛金) 950,000

(3) 時間外預入

仕訳なし

(4) 電子記録債権の決済

(当座預金) 830,000 (電子記録債権) 830,000

<参考>

当 座 預 金		
前T/B	12,345,000	(1) (560,000)
(2)	950,000	
(4)	830,000	
		残高 13,565,000
銀 行		
証明書	13,365,000	
(3)	200,000	
		残高 13,565,000

問 2

1. 4月1日発行日

(当座預金) 37,600,000 (社 債) 37,600,000

※ $400,000 \times \text{発行口数} \times \text{発行価額} = 37,600,000$

2. 9月30日利払日

(社債利息) 600,000 (当座預金) 600,000

※ $40,000,000 \times 3\% \times \frac{6\text{ヶ月}}{12\text{ヶ月}} = 600,000$

3. 3月31日利払日

(社債利息) 600,000 (当座預金) 600,000

※ $40,000,000 \times 3\% \times \frac{6\text{ヶ月}}{12\text{ヶ月}} = 600,000$

4. 決算整理仕訳

(社債利息) 480,000 (社 債) 480,000

※ $(40,000,000 - 37,600,000) \times \frac{12\text{ヶ月}}{60\text{ヶ月}} = 480,000$

問 3

1. 発行日

(現金預金) 3,734,000 (社 債) 3,734,000

2. 利払日

(1) 9月30日

(社債利息) 84,015 (現金預金) 60,000

(社 債) 24,015

※ 1 $3,734,000 \times 4.5\% \times \frac{6\text{ヶ月}}{12\text{ヶ月}} = 84,015$

※ 2 $4,000,000 \times 3\% \times \frac{6\text{ヶ月}}{12\text{ヶ月}} = 60,000$

(2) 3月31日

(社債利息) 84,555 (現金預金) 60,000

(社 債) 24,555

※ 1 $(3,734,000 + 24,015) \times 4.5\% \times \frac{6\text{ヶ月}}{12\text{ヶ月}} = 84,555.3 \rightarrow 84,555$

※ 2 $4,000,000 \times 3\% \times \frac{6\text{ヶ月}}{12\text{ヶ月}} = 60,000$

3. 決算整理

仕訳なし

問 4

1. A株式 (完買目的有価証券)

(有価証券) 100,000 (有価証券) 100,000

※ $5,000\text{株} \times (@370 - @350) = 100,000$

2. B社債 (満期保有目的の債券)

(1) 科目の振替え

(投資有価証券) 287,500 (有価証券) 287,500

※① $(300,000 - 285,000) \times \frac{6\text{ヶ月}}{36\text{ヶ月}} = 2,500$

② $285,000 + 2,500 = 287,500$

(2) 償却原価法

(投資有価証券) 5,000 (有価証券利息) 5,000[※]
※ (300,000 - 285,000) × $\frac{12\text{ヶ月}}{36\text{ヶ月}} = 5,000$

3. C株式(関係会社株式)

(1) 科目の振替え

(関係会社株式) 4,000,000[※] (有価証券) 4,000,000
※ 400株 × @10,000 = 4,000,000

(2) 減損処理

(関係会社株式) 2,400,000[※] (関係会社株式) 2,400,000
(評価損) 2,400,000

※① 実質価額の算定

$$\frac{30,000,000 - 22,000,000}{2,000\text{株}} \times 400\text{株} = 1,600,000$$

② 評価損の算定

$$4,000,000 - 1,600,000 = 2,400,000$$

問5

1. 購入時の修正

(有価証券) 1,260,000[※] (仮払金) 1,260,000
※ 1,000株 × @1,250 + 10,000 = 1,260,000

2. 売却時の修正

(仮受金) 1,965,000 (有価証券) 1,830,000[※]
(有価証券) 135,000^{貸借差額}
(売却損益)

$$\text{※(1)} \quad \frac{2,400,000 + 1,260,000}{2,000\text{株} + 1,000\text{株}} = @1,220$$

$$\text{(2)} \quad 1,500\text{株} \times @1,220 = 1,830,000$$

3. 期末評価

(有価証券) 90,000[※] (有価証券) 90,000
(評価損益)

$$\text{※(1)} \quad 2,400,000 + 1,260,000 - 1,830,000$$

$$= 1,830,000$$

$$\text{(2)} \quad 1,500\text{株} \times @1,280 = 1,920,000$$

$$\text{(注)} \quad 2,000\text{株} + 1,000\text{株} - 1,500\text{株}$$

$$= 1,500\text{株}$$

$$\text{(3)} \quad \text{(2)} - \text{(1)} = 90,000$$

問6

1. 割引手形の買戻しの未処理

(破産更生債権等) 150,000 (当座預金) 150,000

2. B商事受取手形及び売掛金の破産更生債権等への振替

(破産更生債権等) 710,000 (受取手形) 360,000^{※1}
(売掛金) 350,000^{※2}

※1 B商事手持手形 + 取立手形

※2 B商事売掛金

3. 貸倒引当金

(1) 破産更生債権等

(貸倒引当金) 860,000[※] (貸倒引当金) 860,000

$$\text{※} \quad (150,000 + 710,000) \times 100\% = 860,000$$

(2) 一般債権

(貸倒引当金) 25,000[※] (貸倒引当金) 25,000

$$\text{※①} \quad \frac{\text{受取手形} + \text{売掛金} + \text{A商事割引手形} + \text{その他割引手形}}{3,040,000 + 4,660,000 + 300,000 + 700,000} \times 1\% = 87,000$$

$$\text{②} \quad 87,000 - 62,000 = 25,000$$

問7

1. その他有価証券

(1) A社株式

(投資有価証券) 50,000^{※1} (繰延税金負債) 17,500^{※2}
(有価証券) 32,500^{その他の評価差額金}

$$\text{※1} \quad \frac{\text{当期末時価} - \text{取得原価}}{250,000 - 200,000} = 50,000$$

$$\text{※2} \quad 50,000 \times 35\% = 17,500$$

(2) B社株式

(繰延税金資産) 10,500^{※2} (投資有価証券) 30,000^{※1}
(有価証券) 19,500^{その他の評価差額金}

$$\text{※1} \quad \frac{\text{取得原価} - \text{当期末時価}}{300,000 - 270,000} = 30,000$$

$$\text{※2} \quad 30,000 \times 35\% = 10,500$$

2. 賞与引当金

(賞与引当金) 800,000[※] (賞与引当金) 800,000

$$\text{※} \quad 1,200,000 \times \frac{4\text{ヶ月}}{6\text{ヶ月}} = 800,000$$

3. 退職給付引当金

(1) 一時金支給時の修正

(退職給付金) 150,000 (退職給付費用) 150,000

① 会社仕訳

(退職給付費用) 150,000 (現金預金) 150,000

② 正しい仕訳

(退職給付引当金) 150,000 (現金預金) 150,000

(2) 退職給付引当金の計上

(退職給付費用) 300,000 (退職給付引当金) 300,000

※ $\frac{\text{当期末要支給額}}{650,000} - \frac{\text{前期末要支給額}}{500,000} \times \text{一時金支給額}$

= 300,000

4. 税効果会計（その他有価証券除く）

(繰延税金資産) 87,500 (法人税等調整額) 87,500

※ 「前期末」 「当期末」
賞与引当金 800,000
退職給付引当金 650,000

420,000 $1,450,000 \times 35\%$
= 507,500
87,500

問 8

1. 原価率の算定

期首売価	期首原価		当期売上
232,000	201,000		
591,000	当期仕入		770,000
+171,000			
+8,000	591,000		
△2,000			
△11,000		帳簿原価	帳簿売価
+1,000		176,000	(220,000)
990,000	792,000		
	0.8		
1,000,000	792,000		
(低価法) 0.792			

2. 決算整理仕訳

(仕入) 201,000 (繰越商品) 201,000

(繰越商品) 176,000 (仕入) 176,000

(棚卸減耗損) 16,000 (繰越商品) 17,600

(商品評価損) 1,600

※ 1 (1) $\frac{\text{実地売価}}{200,000} \times \frac{\text{原価法原価率}}{0.8} = \frac{\text{期末実地原価}}{160,000}$

(2) $\frac{\text{帳簿原価}}{176,000} - 160,000 = 16,000$

※ 2 $\frac{\text{実地売価}}{160,000} - \frac{\text{低価法原価率}}{158,400} = \frac{\text{貸借対照表価額}}{1,600}$

(注) $200,000 \times 0.792 = 158,400$

問9

1. 商品有高帳

(先入先出法)

商 品 有 高 帳

日付	摘要	受入欄			払出欄			残高欄		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
4 / 1	前期繰越	(^{※4} 180)	(115)	(20,700)				(180)	(115)	(20,700)
5	売 上				120	(^{※1} 115)	13,800	(60)	(115)	(6,900)
10	仕 入	240	(^{※2} 120)	28,800				(^{※3} 60)	(115)	6,900
								240	(120)	28,800
13	売 上				(60)	(115)	6,900			
					80	(120)	(9,600)	160	(120)	(19,200)
20	売 上				(80)	(120)	9,600	(80)	(120)	(9,600)
22	売上戻り	(^{※5} 20)	(120)	(2,400)				(100)	(120)	(12,000)
27	仕 入	100	(^{※6} 129)	12,900				(100)	(120)	(12,000)
								100	(129)	12,900

※1 13,800 ÷ 120個 = @115

※2 28,800 ÷ 240個 = @120

※3 6,900 ÷ ^{上記※1}60個 = 60個

※4 120個 + ^{4/5払出 上記※3}60個 = 180個 (①の数量)

※5 (1) ^{4/20販売益}4,000 ÷ 80個 = @50

(2) ^{4/22販売益}1,000 ÷ @50 = 20個 (②の数量)

※6 12,900 ÷ 100個 = @129

2. 4月中の商品払出額

^{4/5}13,800 + ^{4/13}6,900 + ^{4/13}9,600 + ^{4/20}9,600 - ^{4/22売上戻り}2,400
= 37,500

問10

1. (貸付金) 2,200,000 (現金) 2,200,000

2. (現金) 88,000 (受取利息) 88,000[※]

※ 2,200,000 × 4% = 88,000

3. (貸倒引当金) 159,280[※] (貸倒引当金) 159,280

※ (注) 2,200,000 - 2,040,720 = 159,280

(注)(1) 緩和後の利息

2,200,000 × 2% = 44,000

(2) 44,000 × 3.630 + 2,200,000

× 0.855 = 2,040,720

4. (現金) 44,000^{※2} (受取利息) 81,629^{※1}
(貸倒引当金) 37,629^{貸借差額}

※1 2,040,720 × 4% = 81,628.8 → 81,629

※2 2,200,000 × 2% = 44,000

問11

1. 退職一時金支給時

(退職給付金) 140,000 (現金預金) 140,000

2. 掛金拠出時

(退職給付金) 90,000 (現金預金) 90,000

3. 退職給付費用の計上

(退職給付費用) 350,000[※] (退職給付金) 350,000

※(1) ^{期首自都要支}2,500,000 + ^{期首数理債務}1,200,000 - ^{期首年資}800,000

= 2,900,000

$$\begin{aligned}
 & \text{期末白都要支} \quad \text{期末数理債務} \quad \text{期末年資} \\
 (2) \quad & 2,540,000 + 1,380,000 - 900,000 \\
 & = 3,020,000 \\
 & \text{上取(2)} \quad \text{上取(1)} \quad \text{一時金} \\
 (3) \quad & 3,020,000 - (2,900,000 - 140,000) \\
 & \quad \text{掛金} \\
 & - 90,000 = 350,000
 \end{aligned}$$

問12

1. 三分法

決算整理前残高試算表 (単位：円)			
繰越商品 (	350)	売上	1,000
仕入	600		

決算整理後残高試算表 (単位：円)			
繰越商品 (	230)	売上	1,000
仕入	700		
棚卸減耗損	20		

2. 売上原価計上法

決算整理前残高試算表 (単位：円)			
商品	250	売上 (	1,000)
売上原価 (	700)		

決算整理後残高試算表 (単位：円)			
商品 (	230)	売上 (	1,000)
売上原価 (	700)		
棚卸減耗損 (	20)		

3. 分記法

決算整理前残高試算表 (単位：円)			
商品 (	250)	商品販売益	300

決算整理後残高試算表 (単位：円)			
商品 (	230)	商品販売益 (	300)
棚卸減耗損 (	20)		

4. 総記法

決算整理前残高試算表 (単位：円)			
	商品 (	50)	

決算整理後残高試算表 (単位：円)			
商品 (	230)	商品販売益 (	300)
棚卸減耗損 (	20)		

5. 商品BOX

商品BOX		
期首	(350)	売上原価
当期	600	700
	期末	250
		商品販売益 300
		売上 1,000

問13

1. 車両勘定

車 両	
期首	売却
①の金額 (600,000)	ト記4. 200,000
取得	残高
※ 300,000	700,000

$$\begin{aligned}
 & \text{下取価額} \quad \text{支払額} \\
 \text{※} \quad & 70,000 + 230,000 = 300,000
 \end{aligned}$$

2. 減価償却累計額勘定

減価償却累計額	
売却	期首
108,000	1,008,000
残高	減価償却費(決算整理)
④の金額 (990,000)	ト記3. 90,000

3. 減価償却費勘定

減 価 償 却 費	
売却	損益
前T/B 6,000	
決算整理	96,000
(90,000)	

4. 車両の買換え

(減価償却累計額) 108,000 (車両) 貸借差額 200,000
 ※1
 (減価償却費) 6,000 (現金預金) 230,000
 ※2
 (車両) 300,000
 (車両売却損) 16,000

※1 前T/B減価償却費

※2 上記1. ※参照

5. 有価証券勘定

有 価 証 券	
取得	売却
400,000	140,000 ※
評価損益	残高
③の金額 (20,000)	280,000

※ 売却

(現金預金) 150,000 (有価証券) 貸借差額 140,000
 (有価証券売却損益) 10,000

6. 法人税等

(1) 期首未払法人税等納付

(未払法人税等) 200,000 (現金預金) 200,000

(2) 中間納付

(仮払法人税等) 230,000 (現金預金) 230,000 ※
 ※ 納付額 上記(1)
 ※ 430,000 - 200,000 = 230,000

(3) 法人税等の計上

(法人税等) 500,000 (仮払法人税等) 230,000
 (未払法人税等) 270,000 ※

※ 貸借差額 (③の金額)

7. 繰越利益剰余金勘定

繰越利益剰余金	
配当	期首
400,000	
利益準備金	10,000,000
40,000 ※	
残高	当期純利益
10,310,000	
	⑤の金額 (750,000)

※ $400,000 \times \frac{1}{10} = 40,000$